ITアーキテクト		研修コース群	アーキテクトの基礎		アーキテクチャメソドロジの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	アーキテクチャメソドロジ上級		ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	ソリューションアーキテクチャの基礎			ソリューションアーキテクチャ上級		
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名 知識項目	ITアーキテクト概説	アーキテクチャの考え方	モデリングの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	パフォーマンスエンジニアリング	アーキテクチャパターンの参照と再利用	ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	アプリケーションアーキテクチャの基礎	インテグレーションアーキテクチャの基礎	インフラストラクチャアーキテクチャの基礎	アプリケーションアーキテクチャ上級	インテグレーションアーキテクチャ上級	インフラストラクチャアーキテクチャの設計
アーキテクチャ設計		要件(制約)の分析と定義	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		アーキテクチャ設計指針の定義	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		ITアーキテクチャ設計	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		技術上の課題の定義と代替案の分析	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		プラットフォーム及び要素技術の評価	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		モデリング技法の理解	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		データモデリング技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		プロセスモデリング技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		パフォーマンスモデリング技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		アプリケーション設計技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		インフラストラクチャ設計技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		開発標準の定義	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		基本原則に基づくIT標準の定義	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		既存資産の再利用	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		再利用技法の理解と適用	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		再利用資産の開発と適用	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		再利用資産管理プロセスの理解	○	○					○							○	○	○	○	○	○
コンサルティング技法の活用		コンサルティング技法の選択と活用 ・コンサルティング技法の比較と分析、選定と適用 ・プロセスの定義と実践 ・成果物の定義と作成				○															
コンサルティング技法の活用		分析ツールとモデルの理解と活用 ・事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル ・プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル ・経験カーブ ・3C分析 ・SWOT分析 ・7Sモデル ・マイケル・ポーターの5Forcesモデル ・バリューチェーン分析				○															
コンサルティングの実施		コンサルティング技術の活用 ・仮説設定 ・データ収集 ・インタビューの実施 ・セッションの運営 ・データ分析 ・検証 ・コミュニケーションとネゴシエーションの実施 ・報告書の作成				○															
コンサルティングの実施		顧客リレーション ・顧客リレーションの確立、維持				○															
知的資産管理(Knowledge Management)活用		知的資産の管理と活用 ・知的資産のデータベース化(付加価値、構造化、共有化) ・知的資産の活用 ・知的資産の維持、管理 ・効果の把握と改善の実施 ・ビジネスモデル特許				○															
テクノロジ		IT業界動向の把握 ・国内外のIT市場規模、動向の把握 ・アプリケーションに関わる技術動向の把握 ・ビジネス特許に関わる技術動向の把握	○	○				○	○				○			○	○	○			
テクノロジ		関連技術(IT)動向の把握 ・ハードウェア技術動向の把握 ・ミドルウェア技術動向の把握 ・プラットフォーム技術動向の把握 ・ネットワーク技術動向の把握 ・データベース技術動向の把握 ・セキュリティ技術動向の把握 ・システム管理技術動向の把握	○	○				○	○				○			○	○	○			
テクノロジ		関連技術(IT)標準の理解と適用	○	○				○	○				○			○	○	○			
インダストリ(ビジネス)		関連業界動向の把握 ・インダストリビジネス動向、技術動向、競合状況の把握											○	○							
インダストリ(ビジネス)		関連業界アプリケーションの把握 ・インダストリ共通アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリ固有アプリケーションに関する知識の活用 ・最適プラットフォーム選定 ・インダストリアプリケーション設計の実践											○	○							
インダストリ(ビジネス)		関連業界(ビジネス)標準の理解と適用 ・インダストリ用語、関連法規の把握と活用 ・インダストリ別事業環境の把握と活用 ・インダストリ別ビジネス慣行の把握と活用 ・インダストリ固有業務内容の把握と活用											○	○							
	アプリケーションアーキテクチャ設計	機能要件の定義 ・対象ドメインの知識												○		○			○		
	アプリケーションアーキテクチャ設計	機能アーキテクチャ設計 ・ユーザインタフェース ・アプリケーション構造 ・論理データ構造						○						○		○			○		
	アプリケーションアーキテクチャ設計	機能アーキテクチャ実現性の評価 ・アプリケーション開発技法の評価 ・アプリケーション開発ツールの評価 ・アプリケーションテスト戦略、計画の評価 ・業務移行戦略・計画の評価						○						○		○			○		

©2012経済産業省，独立行政法人情報処理推進機構

ITアーキテクト		研修コース群	アーキテクトの基礎		アーキテクチャメソドロジの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	アーキテクチャメソドロジ上級		ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	ソリューションアーキテクチャの基礎			ソリューションアーキテクチャ上級		
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	知識項目 ＼ 研修コース名	ITアーキテクト概説	アーキテクチャの考え方	モデリングの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	パフォーマンスエンジニアリング	アーキテクチャパターンの参照と再利用	ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	アプリケーションアーキテクチャの基礎	インテグレーションアーキテクチャの基礎	インフラストラクチャアーキテクチャの基礎	アプリケーションアーキテクチャ上級	インテグレーションアーキテクチャ上級	インフラストラクチャアーキテクチャの設計
	インテグレーションアーキテクチャ設計	統合要件の定義 ・対象ドメインの知識 ・システム管理、運用 ・セキュリティ ・ネットワーク ・プラットフォーム ・性能とキャパシティ ・IT標準など															○			○	
	インテグレーションアーキテクチャ設計	統合アーキテクチャ設計 ・ユーザインタフェース統合設計 ・アクセス統合設計 ・アプリケーション統合設計 ・プロセス統合設計 ・データ統合設計						○									○			○	
	インテグレーションアーキテクチャ設計	統合アーキテクチャ実現可能性の評価 ・再利用および標準化の促進 ・アプリケーション開発技法の評価 ・アプリケーション開発ツールの評価 ・アプリケーションテスト戦略、計画の評価 ・業務移行戦略・計画の評価 ・システム基盤設計技法の評価 ・システム基盤設計ツールの評価 ・システム基盤テスト戦略、計画の評価 ・システム基盤移行戦略、計画の評価						○									○			○	
	インフラストラクチャアーキテクチャ設計	インフラストラクチャ要件（主に非機能要件）の定義 ・対象ドメインの知識 ・システム管理、運用 ・セキュリティ ・ネットワーク ・プラットフォーム ・性能とキャパシティなど																○			○
	インフラストラクチャアーキテクチャ設計	インフラストラクチャアーキテクチャ設計 ・システム管理・運用設計 ・セキュリティ設計 ・ネットワーク設計 ・プラットフォーム設計（OS、ミドルウェアなど） ・パフォーマンス設計 ・可用性設計 ・物理データ構造設計など						○										○			○
	インフラストラクチャアーキテクチャ設計	インフラストラクチャアーキテクチャ実現可能性の評価 ・システム基盤設計技法の評価 ・システム基盤設計ツールの評価 ・システム基盤テスト戦略、計画の評価 ・システム基盤移行戦略、計画の評価						○										○			○
ソフトウェアエンジニアリング		セキュリティとプライバシ ・セキュリティ対策（機密保護、改ざん防止対応、不正侵入、コンピュータウィルス、インテグリティ対策、可用性対策、安全対策、ソーシャルエンジニアリング） ・プライバシ保護 ・リスク管理 ・ガイドラインと関連法規	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		テスト技法 ・テストケース設計 ・仕様決定 ・テスト環境設定 ・管理 ・テストデータ準備 ・テストツールの活用	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		プログラミング技術 ・各種プログラミング言語技術の活用と実践	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		開発支援ツールの活用 ・開発環境 ・各種アプリケーション開発ツール ・構成管理ツール ・デバッガ、シミュレータ等	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		開発手法 ・開発手法の選定 ・開発手法の活用と実践 ・ウォーターフォール型、RAD型、スパイラル型 ・業務パッケージ固有の開発手法	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		再利用手法 ・ソフトウェア部品の利用 ・先行プロジェクトの成果物利用 ・再利用手法の活用と実践	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		オブジェクト指向開発 ・オブジェクト指向の基本概念 ・UML ・オブジェクト指向開発プロセス ・分析、設計、実装 ・主なオブジェクト指向技術	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		セキュリティシステムの実装、検査 ・セキュリティ製品、ツールの選定、導入 ・セキュリティ機能の開発 ・セキュリティ技術の実装	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		外部設計 ・外部設計の手順 ・システム機能設計 ・データモデルの設計 ・外部設計書の作成	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		設計手法 ・オブジェクト指向設計 ・構造化設計 ・データ中心型設計	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		内部設計 ・機能設計 ・インタフェース設計 ・内部データ設計 ・サブコンポーネントの識別、役割定義 ・サブコンポーネント間の関係定義 ・内部設計書の作成	○																		

©2012経済産業省，独立行政法人情報処理推進機構

ITアーキテクト		研修コース群	アーキテクトの基礎		アーキテクチャメソドロジの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	アーキテクチャメソドロジ上級		ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	ソリューションアーキテクチャの基礎			ソリューションアーキテクチャ上級		
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	知識項目 ＼ 研修コース名	ITアーキテクト概説	アーキテクチャの考え方	モデリングの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	パフォーマンスエンジニアリング	アーキテクチャパターンの参照と再利用	ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	アプリケーションアーキテクチャの基礎	インテグレーションアーキテクチャの基礎	インフラストラクチャアーキテクチャの基礎	アプリケーションアーキテクチャ上級	インテグレーションアーキテクチャ上級	インフラストラクチャアーキテクチャの設計
プロジェクトマネジメント		プロジェクト統合マネジメント ・プロジェクト憲章作成 ・プロジェクト・スコープ記述書暫定版作成 ・プロジェクトマネジメント計画書作成 ・プロジェクト実行の指揮・マネジメント ・プロジェクト作業の監視コントロール ・統合変更管理 ・プロジェクト終結				○	○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・スコープ・マネジメント ・スコープ計画 ・スコープ定義 ・WBS作成 ・スコープ検証 ・スコープ・コントロール					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・タイム・マネジメント ・アクティビティ定義 ・アクティビティ順序設定 ・アクティビティ資源見積り ・アクティビティ所要期間見積り ・スケジュール作成 ・スケジュール・コントロール					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・コスト・マネジメント ・コスト見積り ・コストの予算化 ・コスト・コントロール					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト品質マネジメント ・品質計画 ・品質保証 ・品質管理					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト人的資源マネジメント ・人的資源計画 ・プロジェクト・チーム編成 ・プロジェクト・チーム育成 ・プロジェクト・チームのマネジメント					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント ・コミュニケーション計画 ・情報配布 ・実績報告 ・ステークホルダー・マネジメント					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・リスク・マネジメント ・リスク・マネジメント計画 ・リスク識別 ・定性的リスク分析 ・定量的リスク分析 ・リスク対応計画 ・リスクの監視コントロール					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト調達マネジメント ・購入・取得計画 ・契約計画 ・納入者回答依頼 ・納入者選定 ・契約管理 ・契約終結					○														
リーダシップ		技術的方向性の設定 ・リーダシップの基本や原則の把握と実践								○											
リーダシップ		リーダシップ ・リーダシップの基本や原則の把握、実践 ・チームワークとコミュニケーションの実践 ・プロジェクト目標の設定 ・プロジェクトの推進 ・プロジェクトの実行 ・プロジェクト管理 ・チームメンバの連携 ・チームメンバの動機付けと達成感の提供								○											
リーダシップ		リーダシップ（技術チーム内） ・目標の設定 ・ITアーキテクト業務の推進 ・ITアーキテクト業務の実行 ・ITアーキテクト業務管理 ・チームメンバとの連携 ・チームメンバの動機付けと達成感共有								○											
リーダシップ		リーダシップ（技術チーム以外） ・目標の共有 ・ITアーキテクト業務の推進 ・ITアーキテクト業務の実行 ・協業								○											
コミュニケーション		2Wayコミュニケーション ・対話およびインタビューの実施 ・意思疎通 ・コミュニケーション手法の活用と実践 ・効果的な話し方、聞き方の実践									○										
コミュニケーション		情報伝達 ・プレゼンテーション技術の活用と実践 ・公式または非公式文書の作成 ・文書表現および表現力の活用と実践 ・メディア選択 ・説得技法の活用と実践									○										
コミュニケーション		情報の整理・分析・検索 ・状況対応能力の育成、実践 ・状況理解力の活用と実践 ・ミーティング運営技術の活用と実践									○										
ネゴシエーション		ネゴシエーション ・交渉プロセスの把握と実践 ・効果的な交渉技法の活用と実践 ・信頼関係の確立 ・目標の設定 ・共通利益 ・論理的思考の実践 ・問題解決手法の活用と実践										○									

©2012経済産業省，独立行政法人情報処理推進機構